

# 男山団地再編事業



## DATA

- **主な連携先・メンバー**  
八幡市/京都府/独立行政法人都市再生機構(以下、UR都市機構)/一般社団法人カンデ
- **活動地域**  
京都府八幡市男山団地及びその周辺地域
- **活動期間**  
2011年～継続中
- **活動資金**  
八幡市・UR都市機構受託研究費/京都府1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業補助金(大学・地域連携プロジェクト支援)/関西大学教育研究高度化促進費

## 活動の目的

持続可能な集合住宅団地再編に資する技術開発研究及び実践

## 連携にいたる経緯

2011年、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択を受け、UR男山団地において実践的な研究を開始。2013年、八幡市、独立行政法人都市再生機構および関西大学の三者は「男山地域まちづくり連携協定」を締結し、様々な主体の協働による事業を展開してきた。

## 活動内容

2014年に策定した「男山地域再生基本計画」に基づき、持続可能な集合住宅団地への再編を目的とした2つのプラットフォームを構築し、研究・実践に取り組む。2019年度の主な活動としては、①UR男山団地住戸リノベーション(以下、住戸リノベ)②UR男山団地集会所リノベーション③住民参加型団地マネジメント、④コミュニティ活動拠点「だんだんテラス」の運営の4点である。

- 具体的には、
- 1 365日オープンの住民コミュニティ拠点「だんだんテラス」の運営継続
  - 2 既存集会所の改修によるコミュニティ拠点化
  - 3 DIY促進型住戸リノベーションの設計・供給
  - 4 DIY支援拠点「だんだんラボ」の運営活用
  - 5 団地屋外環境の改修整備
  - 6 京都府立八幡支援学校との協働による社会活動支援などである。



## 活動の成果

- 1 住戸リノベーションは、新規2戸、プロトタイプ1戸を供給(2014年～計19プランを開発)
- 2 連携協定締結以後、空家率が大幅に低下
- 3 学内の多様な人材との協働による地域課題解決に向けた取組を実施

## 今後の課題・目標

- 1 長期的な視点による団地再編ビジョンの策定・共有
- 2 男山団地再編事業の持続に向けたシステムの構築

### 教員紹介



■ 環境都市工学部 教授

**江川直樹**  
Naoki Egawa

1951年三重県生まれ。74年早稲田大学理工学部建築学科卒、76年同大学院修士課程修了。77年株式会社現代計画研究所入社、82年同大阪事務所を開設し、集住環境を中心とするデザインに取り組む。2004年に関西大学に教授として着任。多くの受賞歴がある中、2018年度には文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞した。

### 協働担当者紹介



■ 一般社団法人カンデ

**辻村修太郎**  
Shutaro Tsujimura

1989年大阪府生まれ。関西大学環境都市工学部建築学科卒、同大学院修了。(建築環境デザイン研究室)  
2012年より「関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト」に所属し、UR男山団地のコミュニティ拠点「だんだんテラス」の開設に携わる。一般社団法人カンデ理事、男山地域コーディネーター。